

議員氏名：岡田 幸次郎

議案番号：議案第30号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

討論内容：

私は、議案30号について反対の立場で討論いたします。

まず、今回の予算については、財源確保に向けた委員会の設置や、ふるさと寄附金の目標設定の改善など、これまで課題として指摘をしてきた部分に行政が一定の見直しをされた点については評価をいたします。財政確保に向けて行政が動き始めたということ、町にとって重要な前進であり、行政の皆さんの努力の表れであり、これは素直に認めたいと思います。

しかしながら、改善はあくまで部分的、いわゆるスポットの改善であり、町の将来を左右する議員反対討論の内容を含めた重要なテーマについては、依然として十分な戦略性が示されている予算とは言えず、予算額も含め、内容も大きく変わったところはありません。また、必死さ、本気度が伝わってきません。

以上の中で、以下3点、指摘をさせていただきます。ただし、内容は当初予算のときの指摘内容と同じなので、簡単にやらしてもらいます。

1つ目、財源確保の委員会を設置するが、実行力の強化が十分ではない点。今回の予算では、ふるさと寄附金の増収をはじめとした財政確保の委員会が設置されるが、あくまでスタートラインです。委員会が会議をただけで終わる可能性すらあります。確実に増収につなげるためには、実行段階に向けた具体的な予算措置が、まだ十分ではありません。ふるさと寄附金は、財政を支える重要な柱です。その実行力の強化が不十分であること。

2つ目、高齢者の移動支援は、生活基盤としてさらに強化が必要な点です。これも前回の指摘と同じなので、簡単にいきます。これは町が主体的に考えていくテーマということもあります。施策では、今後ますます重要になります、買物、通勤、通院、地域活動への参加、これらが確保されなければ、高齢者の生活は成り立ちません。強化のための予算化を再度求めておきます。

3つ目、若者、子育て世代の定着と移住促進の戦略がまだ弱い点です。この町で暮らしたいと思っていただける、総合的な戦略です。財政確保の仕組みづくりが進んだ一方で、現状の取り組みでは、若い世代に選ばれるまちづくりとは、依然弱く、再度改善を求めておきます。

以上、今回の予算案には評価すべき点がある一方、未来を見据えた投資が依然不十分です。後回しにするのではなく、長期的な視点で取り組む必要がありますが、その第一歩としては将来に向けて必要な戦略性や実行力の強化が十分ではないと判断し、反対といたします。